

# 令和3年度（案） キャリア教育全体計画

## 学校教育目標

自ら考え、ともに伸びようとする児童の育成

日本国憲法 教育基本法  
学校教育法 学習指導要領  
教育関係法規  
県・市の基本方針、指導の重点

社会の要請  
系統的な進路指導  
職業観・勤労観を育む進路指導

## めざす児童像

- ・ じっくり考え、しっかり判断し、はっきり表現する子
- ・ 確実にねばり強く学ぶ子
- ・ 三つの「あ」あいさつ、ありがとう、あとしまつのできる子
- ・ 周囲に心が配れる子
- ・ 早寝、早起き、減ゲーム、+朝ごはんが身につけている子
- ・ 毎日を動かす子

## 児童の状況

- ・ 明るく素直である。
  - ・ 明るいあいさつをすることができる。
  - ・ 自分で考えて行動することが難しい。
  - ・ けじめをつけられないことがある。
- 保護者の願い
- ・ あいさつができ、友達を思いやる子。

## キャリア教育推進の目標

◇ よりよい人間関係を築きながら、自らのよさに気づき、夢と希望のある生活や将来をつくりだしていこうとする意欲や態度の育成を図る。

## 令和2年度重点目標

- ・ 友だちや自分のよさ・得意分野に気づき、協働して学び合い助け合おうとする態度を育てる。
- ・ 学ぶことや働くことの意義を理解させ、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす実践力を育てる。
- ・ いろいろな職業について情報収集し、将来への夢や希望を膨らませる。
- ・ 目標に向かって努力し、自ら課題を見つけ、自分で考えやり遂げようとする態度を育てる。

## 学年別キャリア教育重点目標

低学年	中学年	高学年
人とふれあう喜びを知ろう！	やる気と希望を膨らまそう！	将来の自分・夢に向かって進もう！
① 友だちと仲良く遊び、助け合う。 ② 体験活動を楽しみ、身の回りの人に感謝する。 ③ 自分の役割を理解し、協力して活動する。 ④ 自分の考えを持ち、めあてに向かって努力する。	① 自分や友だちのよさに気づき、互いに認め合う。 ② 様々な仕事や働く人々について理解する。 ③ 自己を高める目標を持ち、努力しようとする。 ④ 自分の考えや行動を振り返り、次の課題を持つ。	① 自分や友だちのよさを生かし、よりよい生活をする。 ② 働くことの大切さ・喜びについて理解する。 ③ 集団で楽しく活動できることを考え、実行にうつす。 ④ 将来の夢や希望を持って、努力することができる。

基礎的汎用的能力	教科・領域などにおける指導内容					その他の教育活動 保護者・地域との連携
	各教科	道徳	特別活動		総合的な学習の時間	
			学級活動	学校行事その他の特別活動		
人間関係形成・ 社会形成能力	自分の考えを伝え、互いの意見を聞き合うなどの学習活動を通して、コミュニケーション能力を習得する。	思いやりの心を持ち、自他のよさを見つけ、積極的に人間関係を築こうとする。	互いにかかわり合い、話し合いをし、よりよい学級生活を送る意欲を高める。	集団鼓動における望ましい態度や、よりよい生活態度を育てる。	進んで人に関わり、コミュニケーション能力を高める。	地域の人材や学習材を学習の場に生かし、体験的な学習活動を充実させる。 保護者・地域・保育園・中学校などと連携を図り、教育活動を充実させる。
自己理解・ 自己管理能力	自分の興味関心を見つけ、進んで学ぼうとする。	自己を見つめ、長所や短所を見つけようとする。	学級の一員として、自己の果たす役割の認識を深めさせる。	学習の成果を発揮し、学校生活に充実と達成感を持たせる。	自己の興味をもとに、学習課題に取り組み、豊かな感性を育てる。	
課題対応能力	学習課題を見つけ、主体的・計画的に取り組む力を育成する。	よりよい生活習慣を身につけ、進んできまりを守ろうとする態度を養う。	学級の課題に対し、意見を出し合い、解決する力を育てる。	学校生活を楽しく豊かにするために、諸問題を解決する実践力を養う。	自ら課題を見つけ、自分で考えやり遂げよる力を育てる。	
キャリア プランニング能力	学習課題や活動を取捨選択する能力を育てる。	働くことの意義を理解し、社会に役立つ心構えを養う。	学級での自分の役割を自覚し、主体的に活動する。	様々な活動を通して、自己の能力を見つめ、働くことの意義を理解する。	様々な情報を取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断する力を育てる。	

キャリア教育実践のための基盤

<p>○授業改善 学習規律の確立と協同学習に根ざした、児童が自ら学び合う授業づくりに取り組む。</p>	<p>○生活指導 基本的な生活習慣の定着を図り、好ましい人間関係の育成を目指し、自己実現を支援する。</p>	<p>○職員研修 教職員の協働体制の確立と校内研修の充実を図る。</p>	<p>○地域との連携 開かれた学校づくりをすすめる、家庭や地域社会との連携を深める。</p>	<p>○関係機関との連携 こども園・中学校との連携を図り、体系的なキャリア教育をすすめる。</p>	<p>○地域の教育力 地域行事への参加や外部講師の招聘・体験学習など、地域の学習材を生かす。</p>
---	--	--	--	---	--

注意

- ① キャリア教育を通して児童にどんな力をつけていくかについて理解を図るため、4月中にキャリア教育について20分程度の研修を必ず行う。
- ② 令和3年度の各学年のキャリア教育年間計画を4月中に目を通し確認する。  
学年の年間指導計画は、令和3年度→生徒指導部→キャリア教育→各学年年間指導計画の中にある。